

# 「新庁舎建設適地」についての

## (参考) 役場庁舎候補地調査内容について

町では庁舎適地に関する検討資料として、街なかにおける5点を建設候補地として抽出し、比較調査を行いました。

この調査内容は、意見募集のための参考資料としてとりまとめたものです。

※候補地には私有地が含まれていますが、建設の同意を得ているものではありません。

あくまでも庁舎建設のために一定規模の敷地を確保した場合、どのようになるのかを示したものです。

### 【抽出条件】

- ・町の中心部であること(小野新町地区を中心として)
- ・開発面積1ヘクタールを超えないこと(調節池不要の範囲として)
- ・庁舎建設面積(建坪、真上から見た面積)1,200平方メートル程度(他団体を参考として)
- ・駐車場必要区画120台程度(現住人口の一定割合+職員数の一定割合として)
- ・公用車車庫面積875平方メートル程度(保有概数35台×25平方メートルとして)



## 小野町役場新庁舎建設適地に関する意見・理由

意見(提出順)	理由など
<p>中通地内子育て支援課への移転を提案します。</p>	<p>移転の早期実現のため。現庁舎は老朽化著しく災害など緊急時の重大被害が懸念され、一刻も早い移転が求められます。用地取得難易度が低い候補地にすることで、早期移転を図ります。</p> <p>また土木建築資材の価格が近年年々うなぎ上りに上昇しているため、早期移転実現は必要予算の圧縮にも直結します。</p> <p>小野新町駅前再開発・地域活性化政策の足がかりとして、小野新町駅前の閑散化著しい中で求められている、駅前活性化政策の一環とします。駅に近い立地へ役場が移転することで駅前の活性化が期待できます。加えて他の候補地に比べて必要予算が大幅に低いことから、その分の予算を役場移転と連動させる形での駅前再開発・活性化予算として補填させることが可能です。特に現在、小野新町駅前には観光案内所や名産品を販売する場所すらありません。</p> <p>現状、町最大の観光施設でもあるリカちゃんキャッスルには多数の観光客が訪れるものの、施設内で観光が完結してしまい、町内への経済効果の波及が乏しいことが課題です。これは徒歩圏内の近辺に、観光案内や土産物販売施設が無いことも大きな原因の一つといえるでしょう。町役場の中通への移転と同時に、リカちゃんキャッスルを訪れる多数の観光客が近辺を散策・周遊できるよう施設を整備し、小野新町駅前の再開発を促します。これを実現させるためには、現中通地内の子育て支援課へと新庁舎を早急に移転することが最も望ましいと考えます。</p>